

平成30年度 優秀実践校
越知町立越知中学校

都道府県名:	高知県
住所:	高知県高岡郡越知町越知甲1915
電話番号:	0889-26-1102
児童数(生徒数):	114名
教職員数:	15名
地域の概要:	越知中学校は、高知県のほぼ中央を北西から南東に流れる仁淀川の中流域に位置し、石鎚山系の支脈にかこまれた盆地を中心とした市街地にある。校舎の北側には清流仁淀川が流れ、北西には日本で最も古い化石が発見された横倉山がそそり立ち、自然豊かな環境にある。横倉山は、高知県が生んだ世界的な植物分類学者、牧野富太郎博士が本格的に植物学の研究を始められた場所でも知られている。

①学校の紹介

蔵書数:8052

学校司書の有無:無

勤務形態:学校図書館支援員が常勤

司書教諭の有無:有

教育目標・読書活動に関する目標、標語など:

①学校教育目標

主体的に生きる能力を育て、豊かな人格を生徒に育成する生徒に育成する
～21世紀を生き抜くための資質・能力を育てる教育～

②研究主題

主体的・対話的な学びを通して、練り合いが深まる授業指導の実践

③学校図書館目標

- ・図書館に親しみ、読書を楽しむことを通して豊かな人間性を育てる。
- ・図書館の活用を通して、意欲的に学び情報を活用する能力を育てる。



越知中学校読書館

②読書活動の取組

①定期的に行われている活動

- ・他図書館との連携

教員のリクエストにより、町・県・市立図書館などから本の収集を行い、授業で活用するという実践が全教科で行われている。生徒も読んでみたい本は町立図書館を介して他の図書館より借りることができ、教員及び生徒のニーズに応える図書館経営がなされている。

- ・授業に活かす取組

根拠としての資料や思考を補助する資料について、全教科で日常的に利用し、根拠の形成や思考・視野を広げる授業活動を推進している。百科事典、国語辞典、漢字辞典、英和辞典、和英辞典といった書籍は一人一冊を全教室に配置し、日常的に授業の中で活用している。

- ・朝読書

10年以上前から全校で実施している。朝読書の時間に読む本は、図書委員が月1回のサイクルで学級文庫に配架している。

②イベント的に行われている取組の概要

- ・図書館では、常に各教科の授業とリンクした特集やコーナーを設置している。

- ・読書会の開催

- ・サードブックの配布(中学1年生)

・公立図書館の使い方、分類法、百科事典の使い方等について講師による授業を毎年実施している。

・平成28・29年度に高知県教育委員会「探究的な授業づくりのための教育課程実践事業(学校図書館活用型)」の指定を受け、授業の中で豊かな学びの土台として図書を活用する研究を行った。

③成果

探究的な授業づくりを実践する中で、思考力を育成するための方法について、教員の理解が深まった。曖昧に思考力や活用力を考えて授業を設計するのではなく、どのような思考力を育むために、どのような言語活動を重視した授業を構成するのかを考えるようになり、そのためにどういった図書や言語材料を使うか、という視点を持つようになった。

また、教科横断的に学力育成や教科経営を考えるようになり、教科間の連携が見られるようになった。国語科・英語科の言語能力、数学科の事象を記述する力や論理的に説明する能力、他教科においても、根拠が妥当である考えを持つことができることが大切であると、教員が意識するようになった。

さらに、図書館等の活用計画が教科等の単元計画に位置付けることができた。図書等を利用する姿も日常的に見られる。また、図書や新聞を利用できるように教科担当が授業の場にもこれらの資料を準備しているのが普通になった。